

令和4年度第3回宮城県特定家畜伝染病対策本部会議

日 時：令和5年1月27日（金）
午後5時30分から

場 所：行政庁舎4階 特別会議室

次 第

1 開会

2 議題

高病原性鳥インフルエンザの疑い事例の発生と対応について

3 閉会

令和4年度第3回宮城県特定家畜伝染病対策本部会議
出席者名簿

<本部員>

役職	職	氏名	備考
本部長	知事	村井 嘉浩	
副本部長	副知事	遠藤 信哉	
副本部長	副知事	池田 敬之	
本部員	教育長	伊東 昭代	
"	公営企業管理者	佐藤 達也	(代理) 副局長 (技術担当) 田代浩次
"	総務部長	志賀 真幸	
"	復興・危機管理部長	佐藤 達哉	(代理) 副部長 千葉伸
"	企画部長	千葉 章	
"	環境生活部長	佐藤 靖彦	
"	保健福祉部長	伊藤 哲也	
"	経済商工観光部長	千葉 隆政	(代理) 副部長 佐藤洋生
"	農政部長	宮川 耕一	
"	水産林政部長	吉田 信幸	
"	土木部長	千葉 衛	
"	会計管理者兼出納局長	富田 政則	(代理) 副局長 相馬義郎
"	警察本部長	原 幸太郎	
"	危機管理監	千葉 伸	

<事務局>

所属	職	氏名	備考
復興・危機管理部 復興・危機管理総務課	参事兼課長	佐藤 芳明	
農政部 農業政策室	室長	常陸 孝一	
農政部 家畜防疫対策室長	技術参事兼室長	齋藤 裕	

(敬称略)

異常家きん等の届出を受けた際の報告

- 1 届出受理 令和5年1月27日(金) 午前8時27分
- 2 届出受理者氏名: 大河原家畜保健衛生所 防疫班
- 3 異常家きんの所在場所
所在地 角田市
- 4 当該施設に関する情報
肉用あひる, 飼養羽数: 約1.2万羽
飼養形態: 平飼い, 開放鶏舎
13鶏舎のうち, 4号鶏舎で死亡羽数の増加
- 5 届出事項
異常家きんの週齢: 8日齢
主な症状(稟告): へい死
異常家きんの家きん舎の分布状況: 鶏舎内に散在
既に実施済の検査: 無
- 6 既に講じた措置
家きん, 堆肥, 飼料の移動自粛
関係者及び防疫従事者以外の立入制限
鶏舎及び農場敷地内の出入り口への消石灰散布

7 その他の関連事項

以下の項目について調査中

- ・直近の入雛元 ・鶏糞及び敷料の搬入、搬出状況
- ・飼料会社や死亡獣畜取扱業者の搬入トラックの入場状況

8 届出者への指示事項

飼養する全ての家きんについて移動を自粛すること

農場の出入り口を1カ所に限り、関係者以外を立入させないこと

農場外に者を搬出しないこと

所有者、従業員が外出する場合は、適切な消毒を実施すること

異常家きんの卵、排せつ物、敷料等は、他の家きんと接触しないようにすること。

角田市の養鶏場における高病原性鳥インフルエンザ疑い事例の発生について
経過及び予定

【1月27日(金)】

- 08:27 異常畜通報
- 09:05 東部家畜保健衛生所 出発
- 09:40 農場到着
- 10:06 採材開始
- 10:35 簡易検査 開始
- 13:19 2群26羽簡易検査終了(2群26羽中 21羽陽性)

以下, 予定

- 14:00 農場から仙台家保に検体搬送 農場出発
- 16:00 検体が仙台家保 到着
- 17:30 遺伝子検査 開始
- 17:30 対策本部会議開催

【1月28日(土)】

- 6:00 遺伝子検査陽性
- 6:00 農林水産省へ報告
- 10:00 疑似患畜確定(プレスリリース), 記者対応
- 10:00 殺処分開始

【1月29日(日)】

殺処分完了見込み

【1月31日(火)】

農場消毒・埋却完了し, 防疫措置完了見込み

その他防疫措置に係る情報

1 動員

県職員、市職員、建設業協会員

2 殺処分予定羽数

合計約1.2万羽

3 埋却場所

発生農場敷地内を予定

4 移動制限等

移動制限(3km圏内:2農場、合計飼養羽数:25,500羽)

搬出制限(10km圏内:11農場、合計飼養羽数:231,814羽)

5 消毒ポイント

移動制限 2カ所

搬出制限 1カ所

6 防疫措置支援センター

大河原合同庁舎

7 発生農場確認検査

3km圏内:2農場(20鶏舎)

農場での作業

班毎にリーダーの指示に従って下さい。

家きん取出し係



- ・採卵鶏では、鶏の翼や足をつかみケージから取り出し、運搬係が運ぶ台車に載せたポリ容器に10羽入れていく(すでに死亡している鶏はそのまま残す)。
- ・肉用鶏では4人が板やネットで鶏を囲み、3人で捕鳥し、ビニール袋を敷いたポリ容器に5羽程度(鶏の大きさによる)入れ運搬係へ渡す。
- ・総羽数確認のため、ポリ容器に入れる羽数はリーダーの指示に従って下さい。

運搬係



- ・採卵鶏では、台車に載せたポリ容器に規定の羽数を入れて炭酸ガス注入係まで運ぶ。更に空のポリ容器にビニール袋を敷き、捕鳥係まで運ぶ。
- ・肉用鶏では台車又は仮設レールを使い殺処分係へ運ぶ。また空の容器を採卵鶏と同様に捕鳥係まで運ぶ。

炭酸ガス注入係



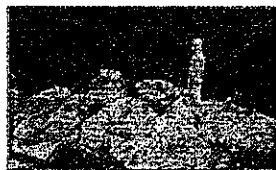
- ・鶏が入ったポリ容器に5秒間炭酸ガスを噴射し、蓋を閉め1分間静置後容器を左右に揺すり、羽音などの生存反応を確認する。死亡を確認したら搬出係へ渡す。

搬出係



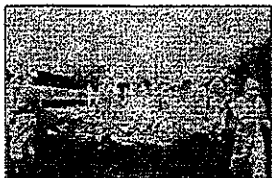
- ・鶏の入ったビニール袋をポリ容器から取り出し、口を専用バンドで結束後鶏舎外に搬出しフレコンバックに投入。
- ・焼却の場合は、ビニール袋をミッパールに詰め、搬出の準備をする。

埋却チーム



- ・掘削した埋却溝に石灰を散布し、シートを敷き準備をする。
- ・重機で運ばれてきたフレコンバックの埋却溝投入補助を行う。
- ・焼却の場合は、トラックによる搬出の準備及び焼却作業を補助する。

清掃・消毒チーム



- ・殺処分及び鶏の搬出が終わったら、鶏舎内の鶏卵・鶏糞・飼料等の搬出、清掃、消毒を順次行う。